



7月号

農山村ネットだより

発行元

とよた都市農山村交流ネットワーク

代表 山本 薫久

豊田市杉本町三斗成1-3

tel・fax 0565-68-1113

セカンドスクール受入研修会に参加しましょう

7月13日(火) 午後6時30分から8時45分
(午後6:30から臨時総会、午後7:30から研修会)
足助交流館 3階 視聴覚室
豊田市足助町蔵ノ前16 電話 0565-62-1251

9月21日(火)から2泊3日

今年セカンドスクールは五ヶ丘小学校5年生 26人、古瀬間小学校5年生 50人。
期日は9月21日(火)～23日(木・祝)の実施がまりました。

五ヶ丘小学校、古瀬間小学校のそれぞれで2回の合同検討会

五ヶ丘小学校と古瀬間小学校の先生方とそれぞれ2回にわたり、話し合いをすすめてきました。小原・旭の幹事さんは五ヶ丘小学校。稲武・足助・下山の幹事さんは古瀬間小学校。地域の特色をもった「セカンドスクール日程表」の提案がされました。合計23軒でのホームステイ先、地域ごとの体験メニューが示されました。

魅力ある地域合同の取り組み

各農家での農体験(稲刈りや畑の収穫など)とともに、各地域ごとに集まって例えば、
ブナ原生林ハイキング(稲武) 人工林の間伐体験(足助) 栗拾い栗ごはん(小原) ニジマス釣り(下山) 炭焼きパンとブルーベリージャム(旭)など地域会ごとの取り組みが計画されています。

安全で楽しいセカンドスクールを目指して 受入研修会

子どもたちの田舎体験は楽しく感動のあるものとなりましょう。子どもたちをお客様扱いにするのではなく、わが子わが孫のように愛おしい想いで接することが大切です。そのためにも、有意義なホームステイのあり方、安全など心得を学んだり、病気ケガなど緊急事態への対処・連絡体制などをきちんと理解しておく必要があります。

昨年につき、この道30年のベテラン西村文子さんの楽しいトーク、豊田市セカンドスクール3年間の蓄積によるホームステイと安全についてのマニュアル、古瀬間小学校の校長先生からの直接のみなさんへのお話しなど、とても貴重な内容の研修会となっています。



受入農家さんインストラクターさんはもちろん、ご協力していただける会員さん、機会があれば交流事業に参加しようとされる方の学習の場として、ぜひご参加ください。受入研修会の前に30分間「臨時総会」を予定しています。予算の追加と規約の一部修正です。参加をお願いしますが、先日お送りした封書に返信用のハガキが入っています。参加できない方は委任のハガキをぜひ投函してください。

足助地区

豊田市共働事業「里山耕」

新盛里山耕流塾では平成22年度事業としては「もりの里☆市民農園：バイオガス講座：旬栽食講座」を開催しています。

市民農園講座は昨年度より継続事業で、米作りが7組のうち6組の方が、畑は6組が継続されました。今年度募集にて新たに米作りの方で4組の方が応募、畑の方では5組の方が応募されました。結果として米作り10組の方、畑で12組の方が耕作をしています。

バイオガス講座は昨年度1月に4回コースでのスタートでしたが、夢が大きくなり時間が大幅に不足して、受講生22名で再スタートして今年度の継続事業になりました。バイオガスプラントとプラントを入れる小屋は手作りです。ガスプラントは部品を手作業で加工しています。小屋の方は材料を裏山から木を伐採し加工して組み立てです。(受講生の中に大工さんが参加されていたので

指導をして頂きました。)一番大きい材木で、根元で直径30cm長さ11メートルの杉の木です。皆さん頑張って6月12日に棟上げ式が出来ました。

旬栽食講座は22年度2回目の講座です。この講座は旬の物を栽培して一番おいしい時期に味わう(旬を食べる)といった贅沢な講座です。



下山地区

5月8日(土) どんどこだでえ～

昨年に続き、今回も下山地区で田植え体験を岡崎のトーア建設主催で行いました。

当ネットワーク会員の高田浩倫さんにお世話になり、100名ほどの方が参加され、子どもたちもどんどこになり、お父さん・お母さんとともに苗を植えました。午前中には作業を終え、その後はみんなでバーベキュー。帰りには「また稲刈りに来るね」と楽しそうに言ってくれました。

後日高田浩倫さんが「人数が多いと補植が大変」との事。体験事業も課題が多いと実感。



6月12日(土) 笑顔いっぱいウォーキング

第12回三河湖ウォークラリーを行いました。

当日は天候にも恵まれ、参加者893名。みなさん新緑の中8.5kmを郷土色豊かなアイデア料理を食べたりユニークなゲームを楽しんだり、一日笑顔いっぱいでした。特に三河湖に向かったの大声コンテストでは日ごろ出せない大きな声とその後の笑顔はとってもステキでした。また、当日80余名の地元笑顔いっぱいボランティアスタッフのみなさんには本当に頭が下がる思いと田舎力を感じました。

なお当日のアイデア料理コンテストでは、見事腰掛山荘の柴田吉朗さんの「マスだってば」が堂々の第1位。お店に行けば買えるかも？



旭地区

○セカンドスクール実施に向けて準備を進めています。

今年のセカンドスクールは、五ヶ丘小学校の子どもたちを旭地区と小原地区で受け入れることが決まっています。旭地区へは16名がやってきます。6月27日(日)2回目の検討会を実施しました。当日は、5軒の受入農家とインストラクターの皆さん13名が集まりました。1日目は各農家で体験活動を、2日目と3日目は、稲刈りと板取の家でジャム作りや竹細工を予定しています。

初めての方もみえますが、経験者の話を聞きながら真剣に検討されました。「去年は、大人が手を出しすぎた感がある。今年は、できるだけ子どもたちが体験できるように工夫していこう。」そんな意見も出され、楽しく、そして、意義のある活動となるようにしようと話し合われました。今後も話し合いを積み重ね充実した活動にしたいと思っています。

○今年も「ブルーベリージャムと炭火焼きパン作り」の会を実施します。

- 1 日時 平成22年8月22日(日)
午前9時30分～午後2時
- 2 豊田市太田町板取 板取の家(古民家)
- 3 体験料(食事代込み) 大人2,000円 小・中学生1,000円
- 4 お申し込み・お問い合わせ先
伊藤美寿代 電話 0565-68-2924

※〆切り 8月15日(日)まで 先着20名までとします。

皆様のご参加をお待ちしております。

実を一杯つけた
ブルーベリーの
木です



稲武地区

まるっと山里 稲武やろまい塾

5月23日(日)、総勢15名で、ちゃふえの田んぼにて田植えを行いました。今回も国際色豊かでアメリカ・イギリス・ニュージーランド、滋賀、長野、岐阜、名古屋からなどバラエティ豊かなメンバーが揃いました。雨が予想されたため、泊り組は土曜日の午後から、田植えをはじめ、日曜日の午前中まで、8畝の田んぼにみねはるかを1本ずつ手植えしました。雨でも田んぼの中は意外に温かでした。

6月12日(日)は山里C y a f eにて、参加者9名にて「命をいただく・命に感謝」ということで鶏をしめるところからさばいて、いただくところまでを行いました。首を切るところではみなさん心を痛めました。鶏さんのためにも後は粛々と作業をすすめ、最後はバーベキューや刺身、スープでおいしくいただきました。子どもたちは思ったよりけろっとしていました。

今後の予定

稲武やろまい塾

7月11日(日) 面の木にてブナの森ハイキング

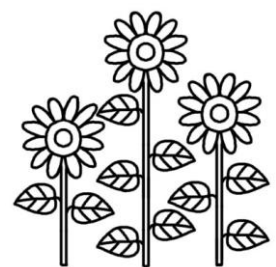
8月7日(土) とうもろこしの摘み取りとブルーベリージャム作り

夏休み親子体験チャレンジ(どんぐり工房+山里ちゃふえ)

7月21日(水)、8月24日(火) 命をいただく・命に感謝

8月19日(木) 畑と摘み菜料理

問い合わせはどんぐり工房(0565-83-3838)へ。



小原地区

栄養士、調理師さんの研修会

6月に名古屋市の子童施設の栄養士、調理師さんの宿泊研修が西村自然農園であり、野草や豆腐、コンニャク、五平もちなど楽しく作って食べていただきました。仲間の池野さんの『食と農の現状と未来』について講演もあり、大変有意義な会だったと喜ばれました。

セカンドスクールに向けて

今年度のセカンドスクールを北部開発センターの児島さんを中心とするグループが受け入れて下さる事になりました。児島さんは地元で人気の料理店をやりつつ、地域の人をまとめ引っぱってゆく力のある方です。少しずつ輪が広がりつつあるのがうれしいです。

会員研修会報告（事務局より）



6月25日（金）にネットワーク会員のための研修会「豆腐づくりとおから料理」が西村自然農園さんにて行われました。講師は西村文子さん。参加者9名。「豆の味がしておいしかった」「豆腐づくりは大変というイメージがあったけど短時間で出来た」との感想に、西村さんからは「おからもクレープやサラダ、ソースなど色々な料理に使えるので是非捨てないで使ってください」と教えていただきました。

交流市民の会

エコットフェスタに出店してきました。

5月30日（日）に豊田市環境学習施設エコットさんで開催されたエコなお祭りエコットフェスタに出店してきました。「とよた農山村魅力発見コーナー」で稲武の山里ちゃふえさんから赤米、小原の西村自然農園さんからは梅干しとゆかり、旭地区からは山菜や野菜の苗など、他にお米や炭などを販売。都市の人に農山村の魅力をアピールしてきました。

やまさとに学ぶ 新しい生き方～山里学校 2010～

山里学校6月講座 「森の息吹を身にまとう草木染」

6月27日（日）稲武のどんぐり工房で草木染の講座があり、スカーフ・ふろしき・エコバック・のれんなどがみごとに色で染め上がりました。講師はこの工房で草木染などを教えて見える村田牧子さん。

山里学校の講座では、草の採集から行います。「クズ・アカソ」を参加者で刈り取る場所から始まり、「あの草がこんなにきれいになるなって」「自然の力を感じます」といった感想がでるほど美しく出来上がりました。好評につき、秋にも草木染講座をおこなうことになりました。ご期待下さい。



次回 7月17日（土）・18（日）

「お母さんの果樹と畑へ行こう！」

旭＊いたどりの家 9：30～翌日14：00

参加費 5500円（1泊4食付）

講師 伊藤 美寿代さん

問い合わせは 080-5306-4253(山崎)

会員募集中！

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫のことなら聞いて！

農業はダメだと料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。炭焼きならできるんだけど…。

などなど、体験の受入れをしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡下さい。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。皆で一緒に楽しみましょう。